

2人一組になった受講生が向かい合わせに座る。1人が相手に質問を投げ掛け、会話を展開させるロールプレイングが始まった。講師が設定したのはこんな問いだ。「死ぬのが怖い。どうしたらいいのでしょうか？」

スピリチュアルペインと呼ばれる、人生の終末期など死に直面した際に訪れる心の痛みや恐怖。

「なぜ今、死ななければならぬのか」「自分の人生は一体、何だったのか」「死んだらどうなるか」。こうした苦痛に向き合い、



共同通信編集委員 西出 勇志

活動広がる臨床宗教師

百家争明

相談者をサポートするのが 構想したのは、医療など欧米で発達したスピリチュと連携できる公共性を帯びアルケアで、日本でも学ぶ た宗教師の育成。傾聴を基人が増えた。3月のある本としたスピリチュアルケ日、これに取り組んでいたアをベースに、相手に求めのは臨床宗教師フォロアられた場合にかぎり読経やアップ研修の受講生たちだ。祈りの宗教的ケアを行う。臨床宗教師。布教・伝道 欧米の病院などで活躍するを目的とせず、病院などの 施設付きの聖職者、チャプ 識の深まりだろう。死をめ公共的空間で心のケアを中 レンの現代日本版といえ ぐつての心のケアの需要が

多死社会に心のケアを

心に活動する宗教師を指す。

東北大に臨床宗教師養成

増えることは必至だから

す。名付け親は、宮城県を 東北大に臨床宗教師養成 中心に在宅緩和ケアに取り のための実践宗教学寄付講 組んだ故岡部健医師。ス 座が開設され、2012年 れた臨床宗教師。政教分離 タップを津波で失った岡部 に仏教やキリスト教、新宗 の原則や信教の自由に注意 医師は、その経験や自らの 教などの宗教師による第1 を払いつつ、宗教と社会の がん体験から、大切な人 を 回の修了生が出た。今年に よりよい関係を築く橋渡し 失った悲嘆、終末期の現場 入って全国で支部設立が相 役となることを期待した に宗教師が必要だと考え 次ぎ、関西や九州などの支 た。

部は活発な動きを見せる。